

日野の1年

平成18年(2006)を振り返る

平成18年(2006)も残すところあとわずか。皆さんにとって今年はどうだったか。日野市は「くにに国柄・まちに品格」着かざって歩きたくなるまちををテーマに市民参画によるまちづくりや行財政改革を積極的に進めてきました。この1年を写真と年表で振り返ってみました。(市長公室広報担当)

Table with 3 columns: 月 (Month), 日 (Date), 主なできごと (Main Events). Lists various municipal events from January to December.

1~3月



▶防災マップ・洪水ハザードマップ 「安全・安心なまちづくり」を推進するため「日野市防災マップ・洪水ハザードマップ」を作成し全戸配布しました。



▶ウォーキング 「美しい日本の歩きたくなるまち500選第1回東京都大会in日野」が開催され、新選組のゆかりの地をめぐるウォーキングが行われました。

4~6月



▶ひの新選組まつり 土方歳三の命日にちなみ、毎年5月に開催される「ひの新選組まつり」。13日はコンテストが行われ、14日は新選組隊士に扮した皆さんが市内でパレード、パフォーマンスが繰り広げられました。



▶工事中の高幡不動駅 高幡不動駅に南北を結ぶ通路ができました。来年オープンの際には七生支所も移転する予定です。

7~9月



▶ひのよさこい祭 市内・外のチームが数多く集まり、華やかな踊りが市内4カ所で繰り広げられました。



▶「幻の真慈悲寺」調査プロジェクトチーム発足 「幻の真慈悲寺」調査プロジェクトチームが発足し、百草園で百草地区の現地ガイド・講演会などが行われました。

10~12月

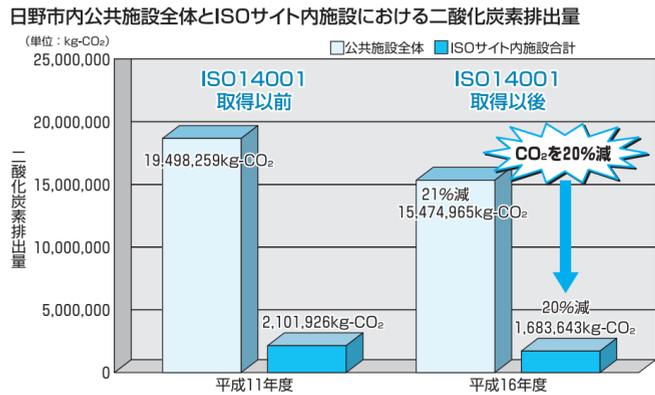


▶健康フェア&くらしのフェスタ 健康事業の紹介や消費者に役立つ情報提供、健康測定、健康ウォーキングなどを行いました。



▶たかはともみじ灯路 高幡不動駅と参道周辺商店街を中心に通りをろうそくのやさしい灯で飾りました。

ISO14001:2004の取り組み (環境マネジメントシステム)



また、平成17年度からは、環境に配慮した事業のプログラムを大幅に増やしました。各課が事業の中で独自にプログラムを作成し、目標管理をしております。

農地保全のため援農のボランティアの育成(産業振興課) 市立小学校の机、いすを環境に配慮したものに入れ替え(教育部庶務課) 廃棄予定図書のリサイクル(市政課)

「緑と清流のまち」日野市では環境に関する意識が高く、市民参加によって「環境基本条例」(平成7年)や「環境基本計画」(平成11年策定、16年度見直し)を作り、その計画に求められている「ISO14001」を平成12年に認証取得しました。

環境情報センターの6施設で、来年度は中央公民館等の施設への拡大を準備中です。市立の小・中学校については今年度から、「ひのつ子エコーアクション」というISOに準じた形で、子どもたちも取り込んで、独自の環境に配慮した取り組みが開始されました。



環境にやさしい市政を目指して

医療機関等にかかるときは、必ず健康保険証と医療受給者証を医療機関等に提示してください。8月から一部負担金の割合等が変わった方は新しい医療受給者証を提示してください。また、古い医療受給者証を返却していない方は返却してください。

医療を受けたときは、かかった医療費の一部を医療機関等の窓口で支払います。一部負担金の割合は、1割または3割(一定以上所得者)です。



老人保健法の医療受給者証を申請する方は、申請(老人保健基準収入額適用申請)により該当すると翌月から1割負担に変更になります。

この通知は、皆さんに健康への関心と医療費に対する認識を深めていただくために行っています。通知は、今月中旬に送付しますが、「医療費の額は保険診療のみです。また、医療機関等からの請求の遅れなどで記載されない場合があります。

この場合、老人保健(市)が医療費を一時立て替えて支払い、後で加害者に請求することになります。交通事故にあつたら、警察に届け出た人身事故として「事故証明書」をもらい、市にも「第三者行為による傷病届」の提出をしてください。

老人保健法医療受給者証をお持ちの方へ